



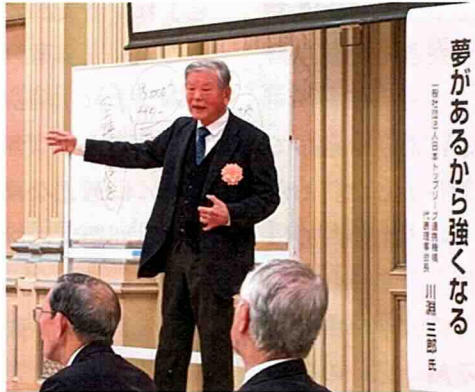
支部大会報告

2024年3月10日（日）午後2時半よりリーガロイヤルホテル東京のロイヤルホールにて、2023年度東京都23区支部大会を開催しました。第1部は講演会。まず日本サッカー協会相談役で、日本トップリーグ連携機構会長の川渕三郎氏による講演

『夢があるから強くなる』。サッカーJリーグの初代チェアマンとして著名な川渕氏が、生来運動が得意だったことからごく軽い気持ちで三国丘高校サッカー部に入学し、早稲田大学・古河電工でもサッカーを続けて東京オリンピックにも出場するなど活躍した若き日々、そして1988年に人生の最大の転機が訪れ、会社を辞め日本サッカーリーグの総務主事に就任してから、日本のプロサッカーリーグやバスケットボールリーグの立ち上げや発展に奔走してきたことを、母校というホームならではの気安さで語りました。「私は危機の時に役に立つ人間、順風満帆の組織では、まあ役立たずなんじゃないかな。」という言葉や、『コペルニクス的転回』に着想を得て、皆がスポーツを楽しむ社会の実現に今も邁進する姿勢が印象的でした。



続いて、田中愛治総長による講演『人々と社会貢献する学生を育てる早稲田』。ビジョン150を経て、国際卓越研究大学への応募に際して分析した大学の強みや今後の取り組みについて、スライドを用いてわかりやすく論じました。今後も「学問の独立」、「学問の活用」、「模範国民の造就」の3つの建学の理念に基づき、日本で、アジアで、世界で輝く学生を育成するという決意が伝わってきました。コロナ後に慶應義塾大学との交流が深まり、良い関係であるとのエピソードも微笑ましく、質疑応答では、巷で話題の医学部設立問題についても丁寧な説明がありました。



夢があるから強くなる

休憩をはさんで、午後5時から第2部の懇親会。前半に引き続き、金子秀二幹事長の司会で、まず金森捷三郎支部長が第3ブロックによる支部運営4年目を迎え300名を超える参加者で集うことが叶ったと開会挨拶されました。次に来賓を代表し、早稲田大学校友会代表幹事萬代晃氏より校友に対する感謝と

激励の言葉を賜りました。ほかの来賓は講演の二氏、校友会事務局局長本間知佐子氏、早稲田大学総長秘書那須孝氏、埼玉県支部支部長利根忠博氏、千葉県支部支部長唐松公三氏、東京三多摩支部支部長清水元氏、神奈川県支部幹事長雨宮敏徳氏。萬代代表幹事の乾杯の音頭により開宴し、出席者は仲間達とにぎやかに懇談しました。宴を盛り上げるアトラクションは、ニューオルリンズホットストーンパーズによるジャズ演奏。全員が早稲田大学ニューオルリンズジャズクラブのOBとのことで、息の合った演奏でジャズの名曲の数々が披露されました。



歓談のひとつときはあつという間に過ぎて、応援部のチアリーダー2名とリーダー2名が登場し、紺碧の空と早稲田の栄光、そして校歌。演奏はニューオルリンズホットストーンパーズ。午後7時、次期支部長吉田誠男氏による中締めで、和やかなうちにお開きとなりました。

前回2023年の支部大会は、和食弁当が配膳され、マスク着用で290名で開催され、今回はコロナ前と同様の形で来賓含め312名で開催されました。支部大会を準備した執行部の皆様の4年間のご尽力に心より感謝いたします。（織田理英記）



四年間の楽しい闘い

早稲田大学校友会東京都23区支部

支部長 金森 捷三郎

初めて四年間の執行部を第3ブロックで担当し、何とか無事に任期を終えることが出来ました。これまで一年交代であったものを二年間の経過期間を第2ブロックで担当され、制度の見直しなど進めていただきその後を第3ブロックで承ったものです。

顧みれば、発足早々新型コロナの蔓延により予定していた行事を中止するなど苦しい選択を重ねました。しかし、新型コロナで傷ついた早稲田大学と早大生のためにマスク事業を始めて支部内外の協力を得、集まった寄付金を併せて100万円を超える資金を早稲田大学に寄付できたことは校友各位の母校学生に対する熱い思いの表れでした。その後コロナの長引くには耐える必要がありましたが、その期間にも会議をWEBで行う事で支部幹事会や執行部会をほぼ途切れることなく継続しました。

おかげで支部内のコミュニケーション、団結を保てたと思います。

コロナの状況が改善するに従い、対外活動も開かれて行きました。台湾校友会の総会、近隣の埼玉、千葉、東京



第1ブロック体制展望

2018年度より2年間、第2ブロック（板橋・北・新宿・千代田・豊島・中野・練馬・文京）が、続いて2020年度より4年間、第3ブロック（大田・品川・渋谷・杉並・世田谷・港・目黒）が、早稲田大学校友会東京都23区支部を運営しました。そして2024年度より4年間、第1ブロック（足立・荒川・江戸川・葛飾・江東・墨田・台東・中央）が担当します。

このブロック当番制は、早稲田大学校友会の活動サイクルに支部の運営を合わせていくことによって、母校支援の一層の充実と各稲門会の発展を図るため、2018年度から開始しました。これまで第2ブロック（高田宜美支部長）が運営体制や会則の整備等、第3ブロック（金森捷三郎支部長）がコロナ禍で打撃を受けた支部の財務基盤の強化と、事業や会議の再開や創設等にそれぞれ尽力されました。敬意をもってその活動と成果を引継ぎ、23区稲門会の拡大発展と相互交流、早稲田大学の発展に寄与するよう努めます。また校友会組織における地域稲門会で最大規模の支部として役割を果たしていきます。

本年度は、ポストコロナを念頭に置き、校友会の共通

三多摩、神奈川各支部とは相互に支部大会、総会などに招待、出席をすることが定例化してきました。当支部の3月の支部大会は300人を超える出席を頂き、賑やかに楽しく開催、川淵三郎日本トップリーグ連携機構会長、田中愛治早稲田大学総長のご講演をお聞きする幸せに恵まれました。今年の稲門祭は従来通りの環境で開催が見込まれ、当支部の日本酒の振る舞いも復活の予定です。

この間支部財政は行事が不活発な環境から収入の不足がみこまれ、解決のために各区稲門会からの年会費を値上げするなどご無理をお願いした結果、ようやくこの3月末には適正な繰越金を積み上げることが出来ました。

残る問題は、コロナ禍で傷ついた各稲門会の活動を活発にし、若い会員、女性会員の増加に努めること、支部として新しい活動を検討すること等があります。

支部活動は校友会、母校を支援し、ひいては社会に貢献するものと信じます。使命感とプライドを忘れないようにしたいと思います。

この四年間の支部活動に対するご支援を各方面から頂き、

心からお礼を申し上げます。本当に有難うございました。

今後執行部を担う第1ブロックも準備万端と見受けます。大いに期待し、ご支援いただきたいと思います。

の課題となっている女性会員と若手会員の入会増進を目的とした、23区稲門会の横断的な施策を企画・実行します。皆様の積極的なご参加とご協力を賜りますようどうぞよろしくお願いいたします。

（吉田誠男記）

【執行部構成】

第1ブロックの執行部の構成員は以下の予定です。

支部長	吉田 誠男（中央）
副支部長	志村 博司（荒川）
副支部長	伊藤 三郎（江戸川）
副支部長	山口 幸一（墨田）
幹事長	谷古宇文宏（足立）
副幹事長	齋藤 誠造（荒川）
副幹事長	串戸 均（葛飾）
副幹事長	伊藤 典子（台東）
総務局長	織田 理英（江戸川）
財務局長	長谷部邦夫（江東）
渉外局長	谷古宇文宏（足立）兼務
監 事	朝倉 久男（板橋・第2ブロック）
監 事	大矢 泰嗣（港・第3ブロック）

2023稲門祭

毎年10月下旬、早稲田大学で行われる「稲門祭（とうもんさい）」をご存知かと思います。世間的に、学祭である「早稲田祭」は有名ですが、稲門祭の知名度は低いかもしれません。現に、昨年稲門祭の前日準備をしている際、学生さんたちが「『いなもんさい』ってあるんだ」と話していました。稲門祭は、大学が主催する「ホームカミングデー」（卒業後15年目・25年目・35年目・45年目・50年目の校友を招待）にあわせて、早稲田大学校友会が開催する校友会最大のイベントです。東京23区をはじめとする地域稲門会、職域稲門会、年次稲門会、早稲田祭スタッフ・環境ロドリゲス・奨学生といった学生さんたち、企業の皆さま、地域商店会などさまざまな方々の協力を得て開催されています。

2023稲門祭は、2023年10月22日(日)に開催されました。天候にも恵まれて、1万数千人の方にご来場いただきました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2020年の稲門祭が中止となって以来、オンライン開催(2021年)、オンライン・飲食禁止での対面開催(2022

年)、お酒を除く飲食解禁での対面開催(2023年)と時勢にあわせた開催方法を模索しつつ、コロナ感染拡大前の稲門祭に近づけて来ました。テーマは「心のふるさと早稲田」で、様々な企画が大隈庭園、大隈講堂、特設ステージで行われました。大隈庭園、本部キャンパスには約90店舗(案内等含む)の模擬店が開かれ、楽しんでいただけたと思います。23区支部所属の稲門会も大隈庭園に出店しました。

2024稲門祭は、2024年10月20日(日)に開催されます。テーマは「輝け!早稲田 仰ぐは同じき理想の光」、お酒の提供も再開され、コロナウイルス感染拡大前の状況に戻ることとなります。23区支部もテントを出す予定ですので、是非、ご来場ください。

(申戸均記)



大隈庭園の様子



本部キャンパスの様子

早慶戦ラグビー観戦

2023年度第1回幹事会が、5月23日開催された。年度初めの幹事会なので会議終了後、各委員会が開催された。私が管掌している事業委員会では、今年度の

取組みとして、所管している稲門祭、支部大会に加え100回記念となる早慶ラグビー観戦に取り組むことになった。この案件は、7月の第2回幹事会にて「秋のスポーツ観戦早慶戦」として報告され、正式に東京都23区支部行事として取り組むことが確認された。担当は、2019年の早慶戦で活躍されたIさんが、担当となったが、ご本人が、病気療養ため音信不通になり、全く勝手の分からない事業委員長の私が、取り組むこととなった。Iさんの事情が、分かる迄の1月以上の間は、空白期となり23区支部の皆様へ広報活動が出来なかった。

さて、担当となった私は、早速行事に取り組んだが、全て手探りで対応となった。8月は、幹事会が開催されないため、各区の幹事さんには、メールでの連絡となった。今回は、国立競技場での開催だが、チケット申込みにラグビー蹴球部OBの方が、名乗りを上げたり、各区で個別に申込みを行った方が、良いのではないかと、事前の準備段階で既に混乱の極みに達していた。結



局少し時間がかかったが、①事業委員会が各区で取り纏めた参加者数を一括して申し込む、②観戦後に懇親会を開催する、の二点を決めた。と

ころが①に関しては、夏休み期間に掛かるので広報・申込期日は、どうするのか等々様々なご意が寄せられ対応・調整に手間取った。チケット申込みを取り纏める関東ラグビーフットボール協会では、事前にチケット代金が決まらず、皆さんにどこ迄お知らせすべきか苦慮した。8月14日申込開始で遅れてしまうと5万席が、完売することは、無いとは思うものの数百もの席が一团として確保されないと23区としては、応援の意味が半減してしまうとの思いから気が気でなかった。一括申込と言っても直前まで申込が続き、その都度対応したが、むりを言っても大学ラグビー蹴球部側には、一团での席確保に努めて頂き、無事叶うこととなった。一番気になったのは、各区の申込数とチケットの整合性(席数&纏まり)で各区に配分完了後も手違いがないかと気をもんだ。19区・313名が観戦された試合では、43VS19で早稲田の圧勝で、懇親会(目利きの銀次信濃町駅前店、会費3500円)も89名ものご参加を頂き大成功だった。

(若菜茂記)

文京稲門会30周年記念総会

2023年6月18日(日)、東京ドームホテルにて、文京稲門会30周年記念総会が開催されました。参加者48名。

記念講演の講師は早稲田大学野球部・小宮山悟監督。話題の中心は横浜ベイスターズ在籍時のエピソードでした。サッカー横浜Fマリノスとの共同イベントを機にサポーターに誘われたものの、柏レイソルのファンゆえ魂は売れないと断り、それが契機で後日Jリーグ理事に就任したとのこと。縁と魂の不思議さよ。

早稲田大学からは渡邊義浩常任理事がご臨席。早稲田大学歴史館のご紹介も頂きました。乾杯の発声は出席会員最年長の菊池徹夫・早稲田大学名誉教授より。懇親会では新入会員や文京区在住学生の自己紹介スピーチを実施。学生の中には「めざせ！都の西北奨学金」の奨学生が居り、平素の寄附の重要性を再認識しました。

最後は筆谷敏正会長指揮による校歌斉唱。記念撮影で日度くお開きとなりました。(谷口和彦記)



東京都23区支部 2024年度総会日程

ブロック	支部名	開催日時	会場
第1ブロック	足立稲門会	6月23日(日) 12時30分	浅草ビューホテル
	荒川稲門会	6月26日(水) 18時	アートホテル日暮里ラングウッド
	江戸川稲門会	6月29日(土) 18時	タワーホール船堀
	葛飾稲門会	6月22日(土)	柴又
	江東稲門会	6月17日(月) 18時	アンフェリシオン
	墨田稲門会	6月23日(日)	アサヒビール
	台東稲門会	11月26日(火) 18時	浅草ビューホテル
	中央稲門会	5月24日(金) 18時30分	銀座東武ホテル
第2ブロック	板橋稲門会	5月26日(日) 17時	板橋区立グリーンホール
	北稲門会	7月中旬	北とびあ
	新宿稲門会	10月5日(土) 16時	大隈ガーデンハウスカフェテリア
	千代田稲門会	6月14日(金) 18時	法曹会館
	豊島稲門会	6月7日(金) 18時	ホテルメトロポリタン
	中野稲門会	5月25日(土) 17時	市ヶ谷アルカディア
	練馬稲門会	7月7日(日) 17時	練馬区民・産業プラザ CoConeriホール
	文京稲門会	6月29日(土) 17時	東京ドームホテル
第3ブロック	大田稲門会	5月25日(土) 12時	プラザ・アヘア
	品川稲門会	未定	未定
	渋谷稲門会	6月25日(火)	恵比寿エレガントヴィータ
	杉並稲門会	5月18日(土) 11時	杉並会館
	世田谷稲門会	6月8日(土) 11時	銀座ライオンビル6階
	港稲門会	6月23日(日) 13時	アリスアークガーデン田町
	目黒稲門会	7月7日(日) 16時	ホテル雅叙園東京

2024稲門祭【10月20日(日)開催予定】記念品

30,000円



三つ折り財布

12,000円



ロックグラス

6,000円

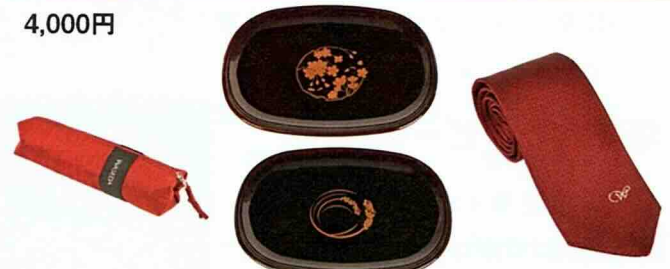


ポロシャツ (白・黒、サイズ各5種類)



ウイスキー ゴールデンホース 武州

4,000円



シルク製ペンケース

会津塗銘々皿 (2枚セット)

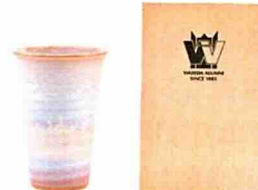
ネクタイ

2,000円



しあわせだ TEA

ゴルフボール



リズムフリーカップ

ジェットストリーム (ボールペン)

■稲門祭記念品 お申込先

2024稲門祭記念品申込係 株式会社デューク・コーポレーション
email: info@waseda-shop.com HP: https://www.waseda-shop.com

- 発行日 2024年4月18日/第23号
- 発行所 〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町4番1号 株式会社伊場仙 気付
- 発行者 東京都23区支部長 吉田誠男(第1ブロック)
- 広報委員 齊藤誠造(荒川稲門会) 織田理英(江戸川稲門会) 大野修一(豊島稲門会)
藤森敏光(中野稲門会) 谷口和彦(文京稲門会) 佐藤裕彦(大田稲門会)
勝山宏則(品川稲門会) 二島豊司(港稲門会)